

2020

発行日 毎月1日 通算発行 407号

3



協会報



今月のトピックス

北陸地方整備局との意見交換会の開催

石川県土木部だより

住宅の耐震化の促進について

～事業者の皆様のご協力をお願いします～

石川県土木部建築住宅課



《石川の工芸シリーズ⑳》

石川県立美術館蔵

かしわぼもんがま しよだいかん ちうつし
柏葉文釜 初代寒雉 写

十二代 宮崎 寒雉【明治13(1880)年—昭和39(1964)年】

制作年/昭和37(1962)年 サイズ/口径10.5×胴径27.2×高さ16.7cm 技法/鑄金
藩政初期から加賀藩御用釜師として『わび』のある茶の湯釜を制作してきた寒雉釜の十二代の作品。姥口(うばぐち)の平釜で、肩は丸みをもって内へ入り込み、胴の前後に大きな柏の葉が1枚ずつ肉高に鑄出されている。裏千家四代目仙叟宗室(せんそうそうしつ)が好んだ初代寒雉作の写しである。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2020

3



《石川の工芸シリーズ④》
かしわぼもんがま しょうたいかんちうぶ
柏葉文釜 初代寒雉写
十二代 宮崎 寒雉(みやざき かんち)

1	今月のトピックス	1
	北陸地方整備局との意見交換会の開催	1
2	石川県土木部だより	2
	住宅の耐震化の促進について ～事業者の皆様のご協力をお願いします～	
	石川県土木部建築住宅課	2
3	令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.3	4
	明齋・酒井特定建設工事共同企業体	4
4	雇用改善コーナー	6
	令和元年度 富士教育訓練センター派遣事業実施結果	6
	石川県立翠星高等学校生徒との意見交換会の開催	6
5	地区協会コーナー	7
	「花とふれあいの未知づくり協議会」の活動について	
	(一社)小松能美建設業協会	7
6	会員リレーコーナー	8
	⑬柳田建設株式会社	8
7	今月の「輝き！」さん No.60	9
	吉田道路株式会社 佐々木彩乃さん	9
8	協会だより	10
	常任理事会の開催	10
	災害対応功労者感謝状贈呈式・災害対策関係功労者表彰式(北陸地方整備局)	
	～災害対応・支援に協力した(一社)石川県建設業協会及び会員企業等に感謝状が贈られました。～	10
	委員会の開催	11
	土木委員会	
	金沢河川国道事務所との意見交換会を開催	11
	建築委員会	
	技術部会の開催	11
	土地改良委員会	
	第3回技術検討部会の開催	12
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	12
	建設青年委員会	
	土木部監理課との意見交換会の開催	12
	環境・情報対策特別委員会	
	令和元年度ICT活用講習会(経営者クラス)の開催	12
	建設技術研修所	
	建設業税財務講習会の開催	13
	YouTubeを活用した情報共有と人材育成講習会の開催	13
9	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	令和元年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
	「自分自身の変化」 加賀建設株式会社 荒木翔伍	14
10	業界時報	15
	労働災害発生状況	15
	令和元年度 建設工事受注高調(元請)	15
11	会員消息	16
12	県協会からのお知らせ	16
13	地区協会からのお知らせ	16

今月のトピックス

北陸地方整備局との意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)は、2月7日(金)午後0時30分から、ホテル日航金沢において、北陸地方整備局との意見交換会を開催した。北陸地方整備局からは、吉岡幹夫局長、内藤正彦企画部長、佐藤研一建政部長他8名の幹部が出席し、当協会からは、小倉会長以下役員21名が出席した。

冒頭、吉岡局長は、「昨年は全国的に自然災害が多発し、当整備局管内でも、台風19号による豪雨で千曲川の堤防が決壊し、大きな浸水被害が発生した。皆様方には、緊急復旧工事に際し多大なるご支援をいただき改めて感謝申し上げます。令和元年度の補正予算が成立したが、当整備局関係では、災害復旧事業費などが盛り込まれ、1千億円を超える予算が配分された。令和2年度当初予算も今年度規模の事業予算が見込まれており、これらを組み合わせて切れ目のない事業の推進に努めて参りたい。」と挨拶。続いて、小倉会長が、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策が県内各地で進められているが、3か年で終わるものではなく、激甚化、頻発化する自然災害に備えるためにも、中・長期的な視点に立ち、着実かつ計画的に国土強靱化対策が継続され、地域防災力の強化が図られることを切に希望している。県協会では、公共事業が安定的に推移している今を変革の好機ととらえ、担い手確保に向け、働き方改革と生産性向上の両面から労働環境の改善に積極的に取り組み、若者にとって魅力ある産業となれるよう努めているので、一層のご指導・ご支援をお願いしたい。」と挨拶した。

意見交換では、山岸専務理事が、公共事業予算の継続的・安定的確保、防災・減災、国土強靱化の着実な推進、地元建設業者の受注機会の確保など、提案議題7項目について趣旨説明・要望を行ったのに対し、北陸地方整備局からは、各項目について資料を示しながら丁寧な回答をいただいた。

〈協会からの要望事項〉

- 1 公共事業予算の継続的・安定的な確保
- 2 防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
- 3 地元建設業者の受注機会の確保
- 4 改正担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
 - (1) 低入札価格調査基準の見直し
 - (2) 監理技術者の選任義務の緩和について
 - (3) 余裕期間制度の原則化
- 5 現場における週休2日の導入に向けた環境整備
- 6 工事書類の簡素化・合理化と検査の効率化
- 7 ICT活用工事を推進するための取り組みの充実



吉岡幹夫局長



小倉 淳会長



意見交換会会場

石川県土木部だより

住宅の耐震化の促進について ～事業者の皆様のご協力をお願いします～

石川県土木部建築住宅課

はじめに

本県では、県民の安全・安心を確保するため、住宅の耐震化促進に全力で取り組んでおり、平成30年度に手厚い助成制度を創設するとともに、(一社)石川県建設業協会をはじめとする事業者団体等と県・市町が参画する協議会を設立し、官民連携で普及啓発を行っています。今後、さらなる促進を図るためには、施主と直接やりとりを行う個々の事業者の皆様の取り組みが不可欠であると考えており、特に以下の三点について皆様のご協力をお願い致します。

1. 耐震化の必要性と手厚い助成制度のPR (リフォーム依頼を受けた際等)
2. 診断～工事の低コスト化の取り組み
3. 事業者リストへの掲載申請

1. 耐震化の必要性と手厚い助成制度のPR

(1) 耐震化の必要性

地震に対する県民の意識は残念ながら低く、「石川県で大地震は起こらない」との声を聞くことがあります。しかし、過去を振り返ると、平成19年の能登半島地震をはじめ、能登から加賀まで至るところで大地震が発生しており、また、金沢市及び周辺市町を縦断している森本・富樫断層帯は、全国の活断層の中で最も危険度が高いランクに位置づけられているなど、本県でもいつ大地震が発生してもおかしくない状況にあります。



能登半島地震の被災状況

過去の大地震では、多くの方が住宅の倒壊により犠牲となっていることから、住宅の耐震化を促進し、地震が起きた際の倒壊を1件でも減らすことが重要です。

(2) 手厚い助成制度

熊本地震等を受けて平成30年度に国の耐震改修補助が拡充されたことを受け、本県では市町と連携して上乗せ補助を行う新たな制度を創設し、住宅所有者の自己負担額を大幅に軽減することとしました。新たな制度は、定額（補助率10/10）で150万円を支援する制度で、耐震改修工事費が150万円まで全額補助されます。一部の市ではさらに上乗せがあり、金沢市・珠洲市は200万円、七尾市は160万円の補助額です。

県民アンケートによると、約4割の方が事業者からの説明で制度を知ったと回答しており、事業者からの情報提供が耐震化への大きなきっかけとなっています。いつ起きてもおかしくない大地震に備え、リフォームの依頼を受けた際などに、施主に対して耐震化の必要性と手厚い助成制度についてPRをお願いします。

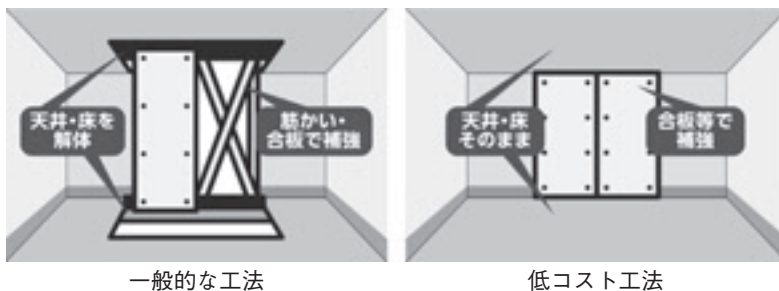
2. 診断～工事の低コスト化の取り組み

(1) 低コスト工法の活用

県内全ての市町で、「低コスト工法」を補助対象の工法として採用しています。

低コスト工法とは、愛知県内の行政、大学、事業者団体等で構成される「愛知建築地震災害軽減システム研究協議会」が

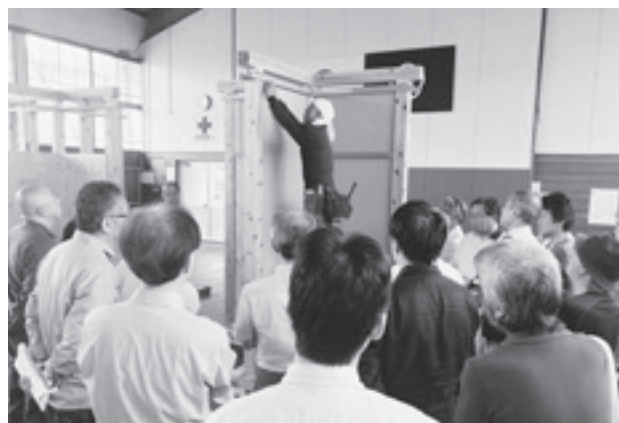
評価した、既存の壁や床、天井を壊さずに補強できる工法等をいい、工事費や工期の縮減が期待できる工法です。



(2) 詳細法による耐震診断・補強計画作成

(一財)日本建築防災協会が公開しているプログラム「Wee2012」による診断は、一般的に評点が低く算出され、その結果、多くの補強を要することから、耐震改修工事費が高くなる傾向があります。そのため、①各階の床面積を考慮した精算法による必要耐力算出、②偏心率による配置バランス係数の算出、③N値法による柱接合部低減係数の算出を行う、いわゆる「一般診断法（詳細法）」による精度の高い耐震診断と補強計画作成が重要です。なお、詳細法による診断は、市販のプログラムで対応が可能です。

低コスト工法や一般診断法（詳細法）については、事業者向け講習会「耐震リフォーム達人塾」を開催し、その普及に努めています。平成30年度は3回、令和元年度は5回講習会を開催し、合計約480名の方に受講いただきました。令和2年度も開催を予定していますので、積極的にご参加いただき、低コスト化の取り組みを進めていただくようお願いします。



耐震リフォーム達人塾（施工講習編）

3. 事業者リストへの掲載申請

県民の皆様が耐震化を検討するにあたり、「誰に頼んでよいか分からない」との状況を解消するため、耐震化に取り組む事業者をまとめた「いしかわ住宅耐震事業者リスト」を県や市町のHPや窓口で公開しています。令和2年1月末時点では建築士事務所53者、工務店・大工60者の計113事業者を掲載しています。

掲載申請は随時受け付けていますので、是非申請をお願い致します。「いしかわ事業者リスト」で検索、又は右記の二次元コードから県HPにアクセスいただき、掲載要件や申請方法等をご確認ください。



おわりに

全市町で新たな制度が導入された今年度の補助制度利用件数は、新制度導入前と比較して約3倍に増加しています。一戸でも多くの住宅の耐震化がなされるよう、今後とも皆様のご協力をお願い致します。

令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.3

施工企業名：明翫・酒井特定建設工事共同企業体

■工事名 金沢港 港湾環境整備（機能強化）工事
（護岸1工区）

■工事分野 港湾漁港工事

■施工場所 金沢市無量寺町～戸水町 地先

■工事概要

施工延長 L=24.2m

鋼管矢板工 (φ800 L=29.0m～31.5m) N=29本

鋼管杭工 (φ700～800 L=18.5m～21.0m) N=14本

■工期 平成30年6月28日～平成31年3月8日

■推薦理由

本工事は金沢港機能強化整備の一環で、船だまりの埋立てを行うための護岸工事である。

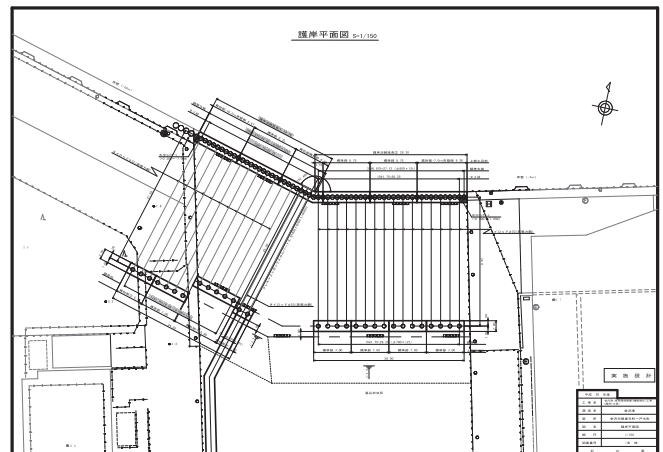
鋼管矢板打設の施工は、クルーズ船の寄港が完了した後の気象条件が悪い10月～12月に台船から海上打設となるため、打設時は直角2方向からトータルステーションで鉛直度を確認し、測量者とクレーン運転手は同時無線を行い鉛直度の修正を図ることや、継手を延長し、打設作業時の鋼管矢板の回転を抑制すること等を実施し、鋼管矢板の鉛直度・法線の出入り等出来型が高精度であった。

また、本工事の隣接箇所には、国施工の岸壁工事やクルーズターミナル建設工事が行われていることから、合同で工程会議を実施し、他工事との工程を共有する事で、調整事項の早期把握等に努め事故なく工事を完了させた。さらに、隣接の岸壁には、クルーズ船や定期貨物船が着岸し、旅客の乗降や荷役作業を行うことから、事前に入港状況を確認し、入港時には作業を実施しないなどの安全対策を行った。

他にも、高校生の体験学習受入れ・現場ホームページの開設による広報活動を実施し、建設業に興味を持ってもらうことで、建設業の将来の担い手確保等普及に努めた。

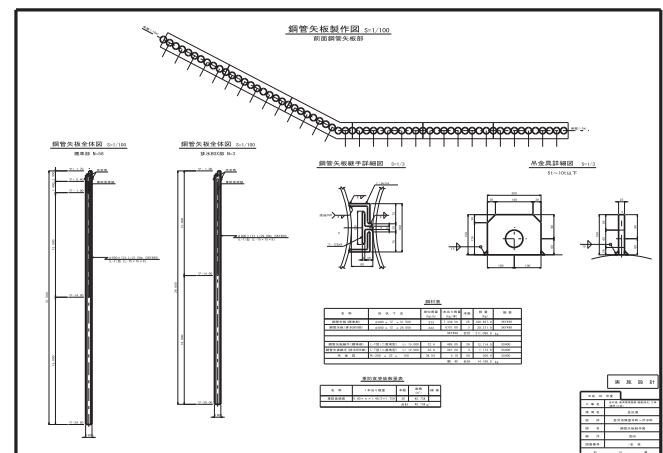


完成写真
背面では埋立て（他工事）が行われている



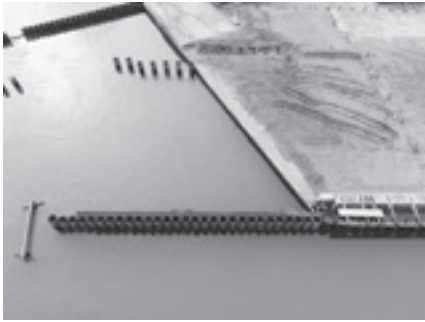
平面図

船溜まり前面の半分（着色部）が施工範囲
控え鋼管杭は陸上打設と海上打設があった



鋼管矢板製作図

鋼管矢板はφ800×12t L=31.5mの長尺物
継手は8m下方まで延長し、建込時に噛合せられるようにした



鋼管杭鋼管矢板打設完了
鋼管杭、鋼管矢板打設完了
この後、腹起し、タイロッドを設置した



鋼管矢板海上運搬
鋼管矢板の海上運搬
積出し岸壁からこの状態で打設場所まで
台船を移動させた



鋼管矢板打設状況
鋼管矢板の打設状況(ウォータージェット
併用パイプロ打設)
2方向から鉛直度の確認を行った



隣接工区との連絡会議
関連する工事業者で工程その他の調整を
毎週行った



現場ホームページ
現場ホームページを作成し、工事内容や
作業の進捗状況、今後の予定などを広く
一般に公開した



就業体験
高校生の就業体験を受け入れた
工期中2回実施し、2校の生徒に建設業や
土木工事への関心を持ってもらえた

■現場代理人のコメント



現場代理人
板本敬二氏

令和元年度土木部優良建設工事知事表彰を受賞させて頂き、ありがとうございます。

また、工事施工にあたってご指導いただいた県土木部港湾課と金沢港湾事務所の皆様、様々な面でご協力頂いた港湾関係各所、隣接工事施工業者、本工事関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本工事は金沢港の船だまり前面に新たな護岸を設けるものであり、船だまり内の浚渫・土砂処分、控え鋼管杭打設、鋼管矢板打設、腹起し・タイロッド設置、既設護岸取付部処理、防砂シート敷設等を施工しました。

鋼管矢板は31.5mという長尺であったため、積出し岸壁から打設場所までクレーン付台船で吊上げた状態で移動し、打設作業を行うことにしました。

また、港内で作業船を使用した作業がメインであったため、海上保安部や港湾荷役関係者、隣接工事業者との調整事項（大型船舶の入出港、鋼管仮置きヤードとしての岸壁利用、隣接工区との工程調整、作業船のアンカー輻輳対策等）が多くあり、合同調整会議や個別打合せに多くの時間を費やしました。関係する皆様のご協力があったお陰で大きな問題が発生することなく無事に完成させることができました。

金沢港機能強化事業の一環へ携われた事は大変光栄に思っています。今後とも様々な事業に携わることで地域社会へ貢献できるよう精進します。

雇用改善コーナー

令和元年度 富士教育訓練センター派遣事業実施結果

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、会員企業等に就職が内定している県内の工業系・普通科高校生を対象に、毎年2月、社会人としてのマナーの習得、技能資格取得を目的として、富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）への派遣事業を実施している。

本年度も、昨年度同様に「就職前準備研修」2日間、「技能講習」6日間とし、2月8日（土）から15日（土）までの7泊8日の日程で実施した。この派遣事業は、平成21年度から継続して実施しており、11年目となった今回は38名が参加した。

研修初日と2日目には、東日本建設業保証（株）の協力により「就職前準備研修」と題し、花輪育英研究所代表花輪孝樹氏より、「学生と社会人との違い」、「社会人としての基本姿勢や考え方」等について講義をいただいた。

研修3日目からは、小型移動式クレーン運転技能講習、玉掛け技能講習、車両系建設機械運転技能講習を受講する2つのグループに分かれ講習を受講し、全員が資格を取得した。

参加生徒にとっては、慣れない環境で長期間の研修となったが、資格取得と同時に社会人としての心構えも学ぶ貴重な時間となった。



石川県立翠星高等学校生徒との意見交換会の開催

（一社）白山野々市建設業協会（会長 北野一郎）は、2月7日（金）に翠星高校を訪問し、環境設計分野の2年生27名と意見交換会を行った。同校との意見交換会は、白山野々市建設業協会の青年委員会を中心として開催しており、地域住民の生活や災害対応などに不可欠な建設業の魅力を生徒にアピールした。

冒頭、同校の稲葉幹雄校長の挨拶に続き、白山野々市建設業協会の谷端正宗副会長が、「建設業は地域に貢献できる大変やりがいのある仕事。本日の意見交換会を参考に将来、建設業を選んでいただければありがたい」と挨拶した。

続いて、建設業を紹介する「未来を創りふるさとを守る建設産業」のDVDを鑑賞した後、「現場監督の仕事内容」と題し、（株）ヨネミツの山本 岳氏よりプレゼンテーションが行われた。

その後、生徒と青年委員が5つのグループにわかれ、グループごとに意見交換を行った。生徒からは「やりがいについて」「仕事の内容について」「休日とは？」などの質問が出され、青年委員が「造るものが大きく、形に残る。その場所を通る度に思い出し、その話題で子供とも話せる」と答えるなど、終始賑やかに意見交換した。

最後に、参加生徒一人ひとりから、今日の意見交換を通して感じたことの発表が行われ、「建設業に対するイメージが良くなった。」「仕事してみたいと思った。」「建設業に興味が出てきた。」などの感想が述べられ閉会となった。



地区協会コーナー

「花とふれあいの未知づくり協議会」の活動について

(一社)小松能美建設業協会

小松市の玄関口でもある国道360号の植樹帯に、お迎えの花がいっぱいになることを願い、平成26年4月、「いしかわ我がまちアドプト制度」に参加する計画を立て、地元町内会と再三の協議を行い、地域と一体となつての「花とふれあいの未知づくり協議会」を立ち上げることができ、今年度で6年目を迎えることができました。

この6年間、国道360号の植樹帯に年2回、季節を感じる花を植えたほか、「道の日」を迎えるにあたり、台風の悪天候の中での草刈りを行ったこともありました。

発足時の活動員は、沿道の町内会と賛同頂いた協会員でしたが、その後、幼稚園児、小松市、小松製作所、そして協会員も1社2社と増え続け、現在、1回の活動員数は130名前後となっています。

花苗の数も、当初800株前後でありましたが、現在は1300株と増え続けています。今後も、当協会のサポーター、地元町内会及び賛同頂いた団体の皆様と共に植え付けた美しい花で、小松市に来られる皆様をお迎えしたいと思っています。

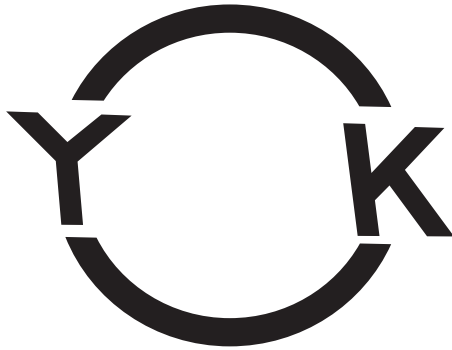
なお、当協議会の活動は、市民共創で品格のあるまちづくりを次世代に引き継ぐ「フローラルこまつ」に貢献を行ったことが認められ、平成29年度に小松市から、花のコンクール大賞「田谷特別賞」を頂きました。



会員リレーコーナー

①95 柳田建設株式会社

(所在地：石川県鳳珠郡能登町字当目口字64-1)



社章

弊社は、昭和28年に旧柳田村にて創業者である駒寄孝造が創業し、昭和50年に法人化されました。現在は能登町となり、地元での公共工事のうち土木工事を中心にを行っています。

弊社は、従業員12名の小規模な会社ですが、社員の平均年齢は45才、最年少が23才という比較的若い世代の会社です。社風は創業時からの方針で、誰もがオールマイティに仕事ができるようになることと、現場代理人自らが率先して体を動かして作業を行うようにしています。そのため、社員間のコミュニケーションは非常に良く遠慮なく意見を交わすことができる環境です。

これまで珠洲道路での大規模な道路改良工事や北河内ダムの建設に携わってきましたが、近年は地域でのほ場整備事業が多くなっており、区画整理工事を始めた当初は経験も無く、人手不足、

(経営理念)

- ・私たちは建設業を通して地域の安全をまもり、地域の未来創造に貢献します。
- ・私たちは仕事に誇りを持ち、汗を流すことを喜びとし、高品質の社会資本を構築します。



区画整理工事（着工前）



（完成）

下請け業者もなかなか見つからない厳しい状況でした。経験を積む中で自分たちの施工技術を向上させ、高品質なものづくりを目指して日々努力しております。また、土地の所有者である地元の方々とのコミュニケーションを大切にし、耕作者の要望も反映した区画整理工事を行うことにより後継者不足が問題となっている地域の農業の問題解決につながると思います。おかげさまで、平成26年度に区画整理工事で石川県知事表彰を受賞することができました。

一つの工事が仕上がる度に、若い世代が成長していく姿はとても頼もしく感じられます。

私たちは、地域の安全を守る大きな役割を担う建設業で働くということに誇りを持って、地域に貢献できる会社を目指しています。

今回は株式会社東井組 代表取締役 東井 保さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いいたします。

(柳田建設株式会社 代表取締役 駒寄美和子)

今月の「輝き！」さん

No. 60



吉田道路株式会社 佐々木彩乃さん

業 種：事務職
 経験年数：2年
 年 齢：20歳

今月は吉田道路株式会社の佐々木彩乃さんを訪ねて七尾営業所に行ってきました。

一会社の概要について教えてください。

吉田道路株式会社は、金沢市豊徳町に本社を置き、創業は昭和25年、社員数は97名の道路舗装工事、土木工事、スポーツ施設の設計・施工、建築工事、アスファルト合材製造、産業廃棄物再生処理などの建設事業をベースに、ロードサイド店舗開発事業や宅地開発事業、太陽光発電事業などの土地活用事業を展開している会社です。私は七尾営業所に所属しています。

一あなたの経歴、入社のご動機について教えてください。

私は七尾市で生まれ、地元の小、中学校を経て石川県立七尾高校普通科に入学しました。

卒業後は、地域に関わり、地域の人々をサポートできる仕事がしたいという思いと、地元である七尾で就職したいという思いがあり、平成30年4月1日ご縁があって入社することとなりました。はじめてお給料をもらった時はお母さんと食事に行きました。

一会社での担当業務は？

総務を担当しており、電話対応や来客対応、日報入力、小口現金の記録などの日々の業務と、請求書作成・照合業務、勤怠管理などの定期的に行う業務を担当しています。グループ会社の1つであるアース測量設

計株式会社の経理業務も担当しています。道路ができる工程を学ぶために工事現場に行くこともあります。

一仕事で苦労したこと、やりがいを感じたことはありますか？

入社した頃は電話対応に苦労しました。会社名が聞き取れないことや専門用語がわからず、担当者へ正確な情報を引き継ぎ出来ませんでした。2年目に入り、新しい仕事を任せられるようになって責任を感じる場面も増えました。少しずつ自分にできる仕事や頼まれる事が増えてきて、大変嬉しくやりがいを感じています。

一建設業界でも女性活躍の職場環境の改善などの取り組みが行われていますが、今後どのような改善を望みますか？

今のところ特に不都合を感じていません。建設業界は男性が多いですが、女性ならではの家庭や子育てに関する不安を取り除いていくことによってイメージアップにつながり、女性技術者の活躍が進むと思います。将来は仕事と家庭を両立できるような働き方を望んでいます。

一余暇の過ごし方、趣味は何ですか？

歌うことが好きで、高校では合唱部に所属していました。今でも、友人とカラオケへ行きます。また、休日には岩盤浴や買い物、連休にはキャンプへ出かけたりしてリフレッシュしています。

一仕事に対する思い、将来の目標、夢、抱負などお聞かせください。

まだ入社して2年目なので毎日が勉強です。まずは自分の仕事をしっかりこなすことが大事だと思います。そしてわからないことは上司や先輩方、現場監督に聞きコミュニケーションを大事にしようと思っています。うまくいくことばかりではありませんが、失敗も成功も糧にしていきたいです。

当面の目標は、建設業経理士2級の資格を取ることです。現在は、知識も経験も未熟ですが、実務経験を積み、仕事に必要な資格をひとつでも多く取得してスキルを高め、会社から必要とされる人間になりたいと思います。

HELL OF FIVE
EST.2011

けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)の常任理事会は、2月3日(月)午後2時から、石川県建設総合センター特別会議室において開催された。

会議に先立ち、安藤路也東日本建設業保証(株)石川支店長、並びに丹治貴紀(株)建設経営サービスコンサルティング事業部長から、「会社の健康診断をしませんか～令和を生き抜く強い会社を目指して～」と題して講話をいただいた。

両氏は、利益の出ている今こそ経営改善が必要であることを説明するとともに、企業の財務診断を呼びかけた。

常任理事会では、冒頭、小倉会長が、「国の令和元年度補正予算案が参議院で可決、成立したが、災害復旧・復興や防災・減災、国土強靱化対策費が盛り込まれており、今後の事業発注に期待したい。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が心配されているが、予防を含めた健康管理に十分配慮していただきたい。」と挨拶。続いて、事務局から下記の議題について報告・説明がなされた。

〈議題〉

1. 北陸地方整備局との意見交換会について
2. 建設業をめぐる最近の話題について
3. 会員受注高調べについて
4. 今後の主な日程について
5. 地区協会からの報告について
6. その他



災害対応功労者感謝状贈呈式・災害対策関係功労者表彰式(北陸地方整備局) ～災害対応・支援に協力した(一社)石川県建設業協会及び会員企業等に感謝状が贈られました。～

北陸地方整備局の災害対応功労者感謝状贈呈式及び災害対策関係功労者表彰式が2月19日(水)に新潟市の同局で行われ、令和元年度に発生した令和元年9月台風15号(関東地方整備局管内)に対する支援と、令和元年10月台風19号に対する支援に尽力したとして、(一社)石川県建設業協会及び同協会会員企業17社(3社欠席)と県協会からの支援要請協力企業11社に北陸地方整備局長より感謝状が贈呈された。

式典では吉岡局長が同功労者代表に感謝状と表彰状を手渡した後、「皆さんが身を挺し活動してもらったことに感謝申しあげる。」と謝意を表した。

【台風15号に対する資材等支援企業】

- ・(一社)石川県建設業協会、(株)江口組、(株)岡組、加賀建設(株)、加州建設(株)、北川ヒューテック(株)、(株)犀川組、酒井工業(株)、沢田工業(株)、大三建設(株)、(株)高田組、(株)豊蔵組、(株)長坂組、(株)本田工務店、真柄建設(株)、(株)丸西組、(株)吉光組

【台風19号に対するダンプトラック等支援企業】

- ・(一社)石川県建設業協会、浅田建設運輸(有)、朝日工建(株)、(株)エコマスク、(有)北建材運輸、シンメ建設運輸(株)、手取川運輸(株)、中居建設(株)、南征建設運輸(株)、(株)東山建材、(株)久盛建設工業、(株)丸伸インダストリ



吉岡局長挨拶



協会関係者



石川県関係者

委員会の開催

土木委員会

◎金沢河川国道事務所との意見交換会を開催

土木委員会(委員長 竹腰勇ノ介)は、2月4日(火)、ANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、国土交通省所管の工事について金沢河川国道事務所との意見交換会を開催した。意見交換会には、金沢河川国道事務所より事務所長の山田哲也氏、副所長の大角一浩氏、尾崎誠氏、工事品質管理官の谷口雄一氏、事業対策官の磯野信樹氏、総括地域防災調整官の小松博美氏、総括保全対策官の山下忠男氏の7名の方々に出席を頂き、県協会から鶴山副会長、土木委員会からは竹腰委員長をはじめとする40名の委員と事務局が出席した。

冒頭に竹腰委員長の挨拶の後、事務所長の山田哲也氏より「石川県における直轄河川・道路事業の概要」と題して、①公共事業予算、②主要事業(河川・砂防・海岸・道路)、③台風19号対応などについてご講演を頂いた。

意見交換会では、土木委員会より①入札・契約関係(4議題)、②総合評価関係(3議題)、③設計積算関係(5議題)、④施工関係(8議題)、⑤監督・検査関係(2議題)、⑥その他要望意見(1議題)の23議題について、当委員会の副部長及び懇話会座長から要望や提案事項の趣旨説明の後、金沢河川国道事務所からの回答を受け、その後に各委員と発注者の双方による活発な意見交換が行われ、散会した。



事務所長による講演



意見交換会

建築委員会

◎技術部会の開催

技術部会(部会長 本田正敏)は、2月14日(金)、石川県建設総合センター会議室において、令和2年第1回部会を開催した。

本田部会長の挨拶の後、事務局より、県発注工事の現場実態調査と工事費実態調査を行うこととし、今年度調査対象事業は、平成29・30・31・令和元年度に県発注建築大型工事(概ね1億円以上の建築工事)の中で、今年度中に完成する11件になることが報告され承認された。また、調査報告の提出時期を3月中旬とし、その後、第2回部会を開催し、調査結果を取り纏めることも決定された。

今後、技術部会として、登録解体工事技術者講習やSDGsの講習会開催などについて検討していくこととし、表副部会長の挨拶で閉会した。



土地改良委員会

◎第3回技術検討部会の開催

令和元年度第3回技術検討部会(部会長 小柳 誠)が、2月28日(金)午前10時30分から、石川県建設総合センター401会議室で、小柳部会長以下14名の部会員と事務局出席のもと開催された。

小柳部会長より開会挨拶の後、今後実施予定の土地改良関係の工事施工に係るアンケート調査について全体的及び各項目ごとに具体的な検討を行った。



広報・研修委員会

◎企画部会の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)の企画部会は、2月18日(火)午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭、高田部会長の開会の挨拶が行われた後、下記事項について審議・報告を行った。

- 1 協会報3月号について
事務局説明の編集計画が審議され承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
 - ・建設業税財務講習会の開催結果
 - ・令和2年度新入社員研修の実施
 について報告がなされた。



建設青年委員会

◎土木部監理課との意見交換会の開催

建設青年委員会(委員長 北川隆明)は、2月20日(木)午後4時からANAホリデイ・イン金沢スカイにて、委員33名出席のもと石川県土木部との意見交換会並びに懇談会を開催した。

意見交換会では、「石川県土木部における最近の動向について」の演題で鈴木 穰技監よりご講演を頂き、その後、「いしかわ土日おやすみモデル工事について」のテーマで意見交換を行った。

委員からは、自社の取り組み状況や社員の感想や問題点・改善点等についても活発な意見交換が行われた。

懇談会には、竹俣隆一土木部長をはじめ幹部の方々にもご参加頂き、和気あいあいと歓談が行われた。



環境・情報対策特別委員会

◎令和元年度ICT活用講習会(経営者クラス)の開催

北陸ICT戦略推進委員会(委員長:内藤正彦国土交通省北陸地方整備局企画部長)主催の令和元年度ICT活用講習会(経営者クラス)が、2月17日(月)、石川県建設総合センターにおいて開催された。講習会は、ICT活用の普及・拡大を図るため、企業の経営者クラスを対象としたもので、会員企業の経営者等80名が受講した。

冒頭挨拶で、内藤企画部長は、「ICT工事は、直轄対象工事の6割程度で活用されているが、地方自治体における普及は道半ばである。建設現場の生産性向上と担い手確保のためにもなお一層の拡大が必要。」と協力を呼び掛けた。

続いて、内藤部長が、「i-Construction推進の取り組み」と題して講義を行った後、ICTトップランナーとして、(株)郷土建設藤村組（新潟県上越市）専務取締役藤村英明氏、(株)加藤組（広島県三次市）取締役土木部長原田英司氏から、両社のICTの先進的取り組み事例について講義を受けた。

講義後の質疑応答では、受講者から、「ICT導入の投資判断に至った経緯は」、「小規模工事へのICT展開戦略は」、「補助金の活用ポイントは」などの質問がなされ、両氏及び整備局担当者から丁寧な回答をいただき、ICT活用に理解を深める有意義な講習会となった。



内藤正彦 企画部長



講習会場

建設技術研修所

◎建設業税財務講習会の開催

2月25日(火)午後1時30分から、石川県建設総合センターで、(一財)建設業振興基金と共催の「建設業税財務講習会」を開催した。

講習会には、会員企業などの経営者、経営幹部、経理担当、現場代理人等72名が参加した。

冒頭、高田直人広報・研修委員長の挨拶の後、公認会計士・税理士の丹羽秀夫氏から「建設業の会計と税務」と題し講演をいただいた。

講習会では、財務諸表の様式、財務諸表作成ルール、建設業における会計・税務等について詳しい解説をいただき大変有意義な講習会となった。



高田直人広報・研修委員長挨拶



丹羽秀夫氏による講習

◎YouTubeを活用した情報共有と人材育成講習会の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)は、2月5日(水)～7日(金)の3日間にわたり「YouTubeを活用した情報共有と人材育成講習会」を開催した。

当講習会は、働き方改革における生産性向上や業務の効率化の手法として「YouTube」を活用し、仕事のしくみを動画にすることで社内の情報共有や情報の蓄積を図ることを目的として実施した。

研修会には、会員企業から22名が参加し、動画活用の意義と効果等の講義から始まり、最終日には受講者全員が作成した動画を視聴し、講師や他の受講生から感想を聞くなどして動画活用に対する理解を深めた。

講師には、当協会ICTフェアや建設青年委員会でご講演を頂いている株式会社GSUCCESSの北野雅史氏にお願いした。



国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和元年度 「私たちの主張」応募作品の紹介 「自分自身の変化」

加賀建設株式会社 荒木翔伍

私は学生時代何に対しても無関心で、流れに身を任せ、好きなことをして生活してきた。そんな私であるから、普通科の高校に入学しても勉強に打ち込まず、部活動も中途半端な状態だった事が思い返される。高校二年生の夏には部活動も終わり、周囲は受験モード一色になっていたのに対し、私は前述の通り流れに任せ、大学進学を目指した。特にやりたい事も見当たらなかった為、大学は比較的偏差値の低い土木学科を選んだ。大学生活は、お酒と遊び、筋肉を成長させることに没頭し、気が付いた時には、四年生に進級できず、留年が確定していた。仲の良かった友達は何卒業し、久しぶりに集まった際、仕事の会話の中に入っていけない事が悔しく、「絶対に卒業する」と心に決めたことを覚えている。卒業には、一年半分の単位を取得しなければならないのに加え、卒業研究もしなければならない、就職活動は二の次の状態であった。そのため、卒業条件を何とかクリアする事ができたが、肝心の就職先の選定は、所属していた土木学科の流れで建設会社に絞った。就職活動中、テレビで見た海上工事の仕事を思い出し、現在勤務している会社に入社した。安易な理由で入社した為、現場監督とは一体何をするのか全く知らず、「船の上で仕事をする職人かな？」くらいの考えだった。

入社初日の社内研修で、現場監督の職務内容を知り、「会社の選択を間違えた」と、過去の自分を悔やんだ。そんな私が研修を終え、配属された初めての現場は、橋脚の耐震補強工事の現場だった。私は現場で何もできず、仕事で使う道具の名前すらわからない。現場で飛び交う言葉が、まるで外国語のように思えた。何をすることも質問し、覚えることで精一杯の私には、何が行われているのか理解できず、ただひたすら現場に立っただけだった。その一方で、新しいことが連続し、経験したことがない世界が楽しいと感じていた。その後、他の現場に配属されたが、初めて経験する事の新鮮さだけではやる気が続かず、工事のやりがいとは何か、模索していた。

そんな私が考え方を変えるきっかけになったのは、昨年十二月に配属された現場だった。その現

場は道路拡幅の工事で、現場打ち擁壁やプレキャスト擁壁を据付け、埋戻しはICTを活用し施工するという内容だった。この現場には、所長と、私の五年先輩の女性社員がいた。私と年齢に近い女性社員が、いくつもの仕事をこなし、現場でははっきり指示している姿を見て、憧れを抱き尊敬した。

ある日、材料発注のため現場の状況を所長に質問された時、答えることができず、「監督ならそれくらい把握しておかなければだめだ」と言われた事がある。この一言で私は「現場監督」として重要な職務がどういうものなのか臆気ながら気づき、それ以降、状況を把握するよう心掛けた。

また、L型擁壁を据付けた際、私が据付位置等を関係者に指示し、所定の位置に据付けられた時には達成感が感じられた。ICT施工に差し掛かった時、私は転圧状況の管理を任せられ、信じてもらっている気がして嬉しかった。職務を全うしようと、所長や作業員と話し合いながら作業を進めていった。

工事完成が近づいたある日、ふと、昼の休憩時に現場を見た時、配属時には足場やブルーシートで覆われていた逆T式擁壁の完成した姿や、何もなかった場所にL型擁壁が据わっているのを目の当たりにし感動した。

同時に、何もない所から決められた工期の中で構造物を造り、着工から竣工までの過程を見届ける事ができるのは、私たち現場監督ならではの特権であると気づいた。

現在、配属されている現場でも、上司や協力業者の方々に教えてもらいながら、日に日に変化していく現場に、日々、達成感を味わっている。

入社を後悔していた私が、約一年間続けられている理由は、仕事の中でやりがいを見つけ、辛いことも乗り越えたからだと考えている。

上司からよく言われる、「三年間が勝負」という言葉を胸に、全て経験と思い乗り越え、慢心することなく成長していきたい。

そしていつか自分が現場の所長となり、自信を持って自分の現場だと胸を張る事ができる様努めていく。

業界時報

労働災害発生状況
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和2年分）

令和2年1月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	2	(1) 3		(1) 5	(1) 2	29
小松監督署	1		1	2		9
七尾監督署	1			1	2	5
穴水監督署	1			1		6
計	5	(1) 3	1	(1) 9	(1) 4	49
前年同期	1	(1) 1	2	(1) 4		36

()内は木建工事 ○内は死亡者数

令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
11月分	139	186	74.7%	1,921	1,362	141.0%	2,060	1,548	133.1%
12月分	183	146	125.3%	1,089	1,575	69.1%	1,272	1,721	73.9%
1月分	103	107	96.3%	2,384	744	320.4%	2,487	851	292.2%
年度累計	2,493	2,658	93.8%	22,032	21,088	104.5%	24,525	23,746	103.3%
29年度累計		3,479	71.7%		24,592	89.6%		28,071	87.4%
28年度累計		4,227	59.0%		20,529	107.3%		24,756	99.1%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
11月分	3,538	2,836	124.8%	496	450	110.2%	4,034	3,286	122.8%
12月分	3,552	2,646	134.2%	1,853	621	298.4%	5,405	3,267	165.4%
1月分	2,217	1,901	116.6%	1,425	772	184.6%	3,642	2,673	136.3%
年度累計	39,255	33,502	117.2%	14,223	9,782	145.4%	53,478	43,284	123.6%
29年度累計		31,644	124.1%		17,638	80.6%		49,282	108.5%
28年度累計		41,249	95.2%		10,960	129.8%		52,209	102.4%

合 計（民間+官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%		令和元年度	平成30年度	%
11月分	6,094	4,834	126.1%	年度累計	78,003	67,030	116.4%
12月分	6,677	4,988	133.9%	29年度累計		77,353	100.8%
1月分	6,129	3,524	173.9%	28年度累計		76,965	101.3%

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和2年3月行事予定

- 3月 3日(火) 正副会長会議
 9日(月) 金沢協会 理事会
 12日(木) 災害協定に基づく防災訓練 (県内全域)
 13日(金) 会報編集委員会
 16日(月) 広報・研修委員会 講演会及び懇親会
 (金沢彩の庭ホテル)
 18日(水) ICT戦略推進委員会 (新潟 新潟国道事務所)
 19日(木) 北陸青年委員会 役員会及び整備局との意見交換会
 (新潟 新潟県建設業協会)
 27日(金) 暴力団等対策特別委員会
 石川県耐震診断等評定委員会運営協議会
 30日(月) 事務局打合せ
 正副会長会議

令和2年4月以降の行事予定

- 4月 3日(金) 正副会長会議
 常任理事会
 総務企画委員会
 7日(火) 新入社員研修
 13日(月) 金沢協会監査
 27日(月) 正副会長会議
 5月11日(月) 理事会(建災防10:30・組合11:30・協会12:15)
 20日(水) 全建協連 総会・懇親会 (東京 霞が関ビル)
 26日(火) 総会 (建災防11:00・組合13:00・協会14:00)
 29日(金) 全建 表彰式・総会・懇親会(東京 経団連会館)
 6月 3日(水) 正副会長会議
 常任理事会
 15日(月) 測量コンテスト (金沢市ものづくり会館)
 23日(火) 全建協連 専務・事務局長会議
 (東京 霞が関ビル)
 24日(水) 全国建産連 通常総会 (東京)
 9月30日(水) 全国建産連 会長会議
 (ザクラウンパレス新阪急高知)
 10月26日(月) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)
 ②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)
 ③協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(火) 青年：技術防災セクション
 災害時体制正副班長会議
 5日(木) 献血奉仕
 9日(月) 常任理事会・理事会

- 23日(月) 青年：情報発信セクション
 24日(火) 入札・契約制度等説明会
 26日(木) 青年：幹事会

《お知らせ》

- 4月 6日(月) まちなか協働パトロール出発式

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和2年3月行事予定

- 3月 3日(火) 正副会長会議
 9日(月) 金沢協会 理事会
 12日(木) 災害協定に基づく防災訓練 (県内全域)
 13日(金) 会報編集委員会
 16日(月) 広報・研修委員会 講演会及び懇親会
 (金沢彩の庭ホテル)
 18日(水) ICT戦略推進委員会 (新潟 新潟国道事務所)
 19日(木) 北陸青年委員会 役員会及び整備局との意見交換会
 (新潟 新潟県建設業協会)
 27日(金) 暴力団等対策特別委員会
 石川県耐震診断等評定委員会運営協議会
 30日(月) 事務局打合せ
 正副会長会議

令和2年4月以降の行事予定

- 4月 3日(金) 正副会長会議
 常任理事会
 総務企画委員会
 7日(火) 新入社員研修
 13日(月) 金沢協会監査
 27日(月) 正副会長会議
 5月11日(月) 理事会(建災防10:30・組合11:30・協会12:15)
 20日(水) 全建協連 総会・懇親会 (東京 霞が関ビル)
 26日(火) 総会 (建災防11:00・組合13:00・協会14:00)
 29日(金) 全建 表彰式・総会・懇親会(東京 経団連会館)
 6月 3日(水) 正副会長会議
 常任理事会
 15日(月) 測量コンテスト (金沢市ものづくり会館)
 23日(火) 全建協連 専務・事務局長会議
 (東京 霞が関ビル)
 24日(水) 全国建産連 通常総会 (東京)
 9月30日(水) 全国建産連 会長会議
 (ザクラウンパレス新阪急高知)
 10月26日(月) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)
 ②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)
 ③協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(火) 青年：技術防災セクション
 災害時体制正副班長会議
 5日(木) 献血奉仕
 9日(月) 常任理事会・理事会

- 23日(月) 青年：情報発信セクション
 24日(火) 入札・契約制度等説明会
 26日(木) 青年：幹事会

《お知らせ》

- 4月 6日(月) まちなか協働パトロール出発式

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和2年3月行事予定

- 3月 3日(火) 正副会長会議
 9日(月) 金沢協会 理事会
 12日(木) 災害協定に基づく防災訓練 (県内全域)
 13日(金) 会報編集委員会
 16日(月) 広報・研修委員会 講演会及び懇親会
 (金沢彩の庭ホテル)
 18日(水) ICT戦略推進委員会 (新潟 新潟国道事務所)
 19日(木) 北陸青年委員会 役員会及び整備局との意見交換会
 (新潟 新潟県建設業協会)
 27日(金) 暴力団等対策特別委員会
 石川県耐震診断等評定委員会運営協議会
 30日(月) 事務局打合せ
 正副会長会議

令和2年4月以降の行事予定

- 4月 3日(金) 正副会長会議
 常任理事会
 総務企画委員会
 7日(火) 新入社員研修
 13日(月) 金沢協会監査
 27日(月) 正副会長会議
 5月11日(月) 理事会(建災防10:30・組合11:30・協会12:15)
 20日(水) 全建協連 総会・懇親会 (東京 霞が関ビル)
 26日(火) 総会 (建災防11:00・組合13:00・協会14:00)
 29日(金) 全建 表彰式・総会・懇親会(東京 経団連会館)
 6月 3日(水) 正副会長会議
 常任理事会
 15日(月) 測量コンテスト (金沢市ものづくり会館)
 23日(火) 全建協連 専務・事務局長会議
 (東京 霞が関ビル)
 24日(水) 全国建産連 通常総会 (東京)
 9月30日(水) 全国建産連 会長会議
 (ザクラウンパレス新阪急高知)
 10月26日(月) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)
 ②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)
 ③協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(火) 青年：技術防災セクション
 災害時体制正副班長会議
 5日(木) 献血奉仕
 9日(月) 常任理事会・理事会

- 23日(月) 青年：情報発信セクション
 24日(火) 入札・契約制度等説明会
 26日(木) 青年：幹事会

《お知らせ》

- 4月 6日(月) まちなか協働パトロール出発式

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

3月 4日(水) 建災防加賀分会 安全パトロール
下旬 役員会

《お知らせ》

4月19日(日) 加賀温泉郷マラソン
下旬 役員会

25日(水) 理事会
下旬 県管理河川において堤防等の点検パトロールを実施(土木部会)

《お知らせ》

4月21日(火) 監事会
23日(木) 理事会
5月21日(木) 定時総会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

3月 3日(火) 土木技術部会研修
10日(火) 正・副会長会議
12日(木) 建築委員会研修
15日(日) こまつ水辺クリーンデー協力
19日(木) 理事会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

3月上旬 建築委員会 定例会

《お知らせ》

4月 1日(水) 監理技術者講習会
次回七鹿協会開催は令和3年2月2日(火)

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

3月 4日(水) 献血活動
28日(土) 土木・農林委員会合同ゴルフコンペ
下旬 役員会

(一社)鳳輪建設業協会

《お知らせ》

3月13日(金) 能登産業技術専門学校後期修了式
27日(金) 奥能登土木委員会 役員会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

3月下旬 定例役員会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

3月10日(火) 監理技術者講習会
13日(金) 工事現場安全パトロール(幹事会)
27日(金) 奥能登土木委員会 役員会
下旬 役員会

(一社)羽咋都市建設業協会

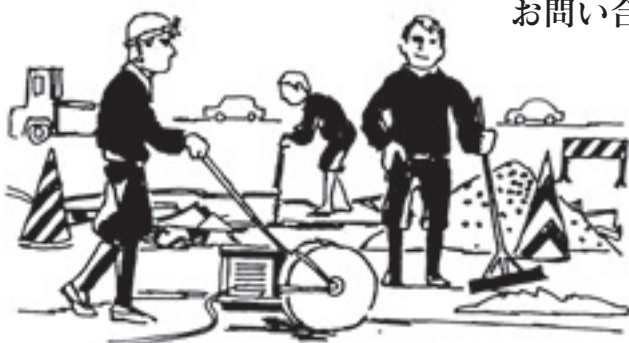
《行事予定》

3月 5日(木) 土木部会役員会

不慮の災害事故発生にそなえて

**全建協連総合補償制度
自動車保険**

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F